

追加演習

教材の練習問題の追加演習 完成した場合、担当者に問題にRVすること

RVでは、自身の書いた疑似言語を口頭で説明する。

問題10 偶数判定

引数が整数型: x の入力に対して、その値が偶数であれば`true`、そうでなければ`false`を戻り値として返す関数`isEven`を疑似言語で作成せよ。

[プログラム]

○論理型:`isEven(整数型: x)`
//続きを以下に記載すること

問題20 最大値

引数が整数型: x, y, z の入力に対して、最大の値を戻り値として返す関数`max`を疑似言語で作成せよ。

[プログラム]

○整数型:`max(整数型:x, 整数型:y, 整数型:z)`
//続きを以下に記載すること

問題30 配列からの最大値

引数が整数型配列: `numArray` の入力に対して、最大の値を戻り値として返す関数 `maxFromArray` を疑似言語で作成せよ。このとき、整数型配列は一次元配列とする。

[プログラム]

```
○整数型: maxFromArray(整数型配列: numArray)
  // 続きを以下に記載すること
```

問題30 FizzBuzz

1から1000までの数を以下のルールに従って文字列を出力するプログラムを作成せよ。

ルール:

- 数が3の倍数であれば"Fizz"を出力する。
- 数が5の倍数であれば"Buzz"を出力する。
- 数が3と5両方の倍数であれば"FizzBuzz"を出力する。
- それ以外の数の場合、数値をそのまま出力する。

出力例 : 1 2 Fizz 4 Buzz Fizz 7 8 Fizz Buzz 11 Fizz 13 14 FizzBuzz 16

[プログラム]

//続きを以下に記載すること

問題40 再帰関数

以下の関数subProgramが定義されている。

```
[プログラム]
○整数型:subProgram(整数型:n)
  if ( n < 1>)
    return n
  else
    return subProgram(n-1)
  endif
```

subProgram(10)の結果となる整数値を回答せよ。

問題50 ソート

引数が整数型配列: `numArray` の入力に対して、**降順**にして並び替えた整数型配列を戻り値として返す関数 `descendingOrderSort` を疑似言語で作成せよ。このとき、整数型配列は一次元配列とする。

[プログラム]

```
○整数descendingOrderSort型配列:(整数型配列:numArray)  
  //続きを以下に記載すること
```

